

三重陸協たより

三重陸上競技協会広報部 H.15.5.10

静岡国際で安田覚（三重県教員クラブ）が5m50で優勝

（春季サーキット前半戦三重県関係者競技成績）

静岡国際陸上（5/3 静岡草薙）

優勝	男子棒高跳	安田 覚（三重県教員クラブ）	5m50
第4位	女子走高跳	貞廣 千波（三重陸協）	1m75
第7位	女子砲丸投	堤 あい（国土館大）	13m65
第8位	男子200m	石川 裕司（三重大）	21秒05（+3.6）
《三重県出身者 市岡寿実（国土館クラブ）女子砲丸投 第3位 16m42》			

兵庫リレカーニバル（4/20 兵庫ユニバー）

第2位	男子円盤投	藤原 潤（八千代工業）	48m89
第3位	男子1500m	木實 淳治（八千代工業）	3分47秒58
第4位	〃	小林 史和（NTN）	3分48秒09
第8位	女子100mH	鬼頭 祐子（中京大）	15秒91（+0.2）
《三重県出身者 市岡寿実（国土館クラブ）女子砲丸投 第3位 16m41》			

織田記念陸上（4/29 広島広域公園）

第2位	女子5000mB	田中 真知（名城大）	15分53秒97
第8位	男子100m	田島 宣弘（日本体育大）	10秒36（+2.0）

水戸国際陸上（5/5 水戸）

第6位	男子100m	田島 宣弘（日本体育大）	10秒31（+1.8）
	女子5000m	田中 真知（名城大）	15分42秒84
女子選抜	100m	伊藤 佳奈恵（三重大）	11秒86（+2.9）

春季サーキット静岡国際において安田覚（三重県教員クラブ）がすばらしい跳躍を披露。5m50で優勝を決めた後、5m65に挑戦。バーに少し触れて失敗に終わったが、体は完全にバーを越えていて、今後の競技会では日本記録更新も夢ではなくなってきた。今後の活躍が大いに期待できる。

男子1500mでは、今年も木寛淳治（八千代工業）と小林史和（NTN）がしのぎを削る。この種目にも日本記録更新の期待がかかる。

アジア大会代表の田島宣弘（日本体育大）も故障が癒えて復調してきた。200mのスペシャリスト石川裕司（三重大）も健在で、昨年アジアジュニアに出場し、4×100mRでジュニア日本記録保持者となった松永康孝（中央大）らとともに今年も飛躍の年にしてほしいところ。

ベテランの域に達した藤原潤（八千代工業）や貞廣千波（三重陸協）の円熟した競技ぶりも楽しみであり、若い競技者は日本で一流の彼らの競技ぶりから一つでも多くのことを吸収して一日でも早く彼らを脅かす存在になってもらいたい。

女子100mの元日本記録保持者の伊藤佳奈恵（三重大）も水戸国際で追風参考ながら11秒台を記録。復活の狼煙（のろし）を上げた。

春季サーキットは大阪国際グランプリが本日行われて終了。その後、6月6日～8日に開催される日本選手権へとつながっていく。